

シンポジウム

もう一つのヒバク 携帯電話基地局の 健康被害を考える

日時 2012年 3月24日(土) 13時~17時 (12時半開場)

場所 **東京ウィメンズプラザ** ホール (裏面地図参照)
東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」下車、B2出口から徒歩約7分

参加料 1000円 ※事前申込みは不要です

1 基調講演

- 「電磁波について」 **荻野晃也さん** (電磁波環境研究所所長)
- 「電磁波についてのリスクコミュニケーション」 **高峰真さん** (弁護士・日弁連公害対策環境保全委員)

2 携帯電話基地局周辺における健康調査報告

- 「兵庫県川西市の健康調査と電磁波過敏症について」 **加藤やすこさん** (ジャーナリスト)
- 「福岡県太宰府市の健康調査」 **近藤加代子さん** (九州大学大学院芸術工学研究院准教授)
- 「沖縄県那覇市の健康調査」 **新城哲治さん** (大道中央病院内科医、医学博士(分子生物学))

3 電磁波の実状

- **懸樋哲夫さん** (ガウスネット代表)
- **門川淑子さん**
(スカパー巨大アンテナに反対する住民の会代表)

4 携帯電話基地局による健康被害事例報告

- 兵庫 ○横浜 ○長野 ○沖縄



あなたの家や職場の近くにあるかもしれない携帯電話基地局。この基地局による健康被害の訴えが各地で相次いでいます。“基地局が健康に悪影響を及ぼす証拠はないとWHOが言っている”として、国は実態調査や対策などを一切行いません。しかし、全ての公害は症状が優先します。被害の訴えがある以上、早急な取り組みが必要ではないでしょうか。基地局周辺住民や、調査を行った医師・研究者らが一同に会し、現実に起きていることをご報告します。多くの方々のご参加をお願いいたします。

主催 電磁波から健康を守る全国連絡会

お問い合わせ (なるべくメールでお願いいたします) voc-emf@mbn.nifty.com (加藤)
meruado@denziha.net (全国連絡会) 電話 03-5628-5733 (あじろ)

※シンポ開催のため、カンパのご協力を呼び掛けます(1口1000円)。

振込先：郵便振替00110-7-743049「電磁波百万人署名」【裏面もご覧ください】

3.24ウォーク呼びかけ ヒバクは終わる あなたが望めば

塩田永、三枝子

自宅近くに携帯電話基地局が建ってから、私たち一家は、頭痛やめまい、吐き気など、電磁波過敏症の症状に悩まされました。山奥の圏外に引っ越しましたが、そこにも基地局が建ってしまいました。

2010年の夏、ケータイ圏外を取り戻すため東京ドコモ本社まで13日かけて220kmを歩き、海外からもこんなメッセージを受け取りました。

「電磁波過敏症の問題を眼に見える形にしてくれてありがとう」。

3月24日に東京で開催される電磁波のシンポジウム【裏面参照】にあわせて、小さなウォーク

クを行ないます。今回は45分だけのウォークですが、ハートのある多くの人たちと楽しく歩けると夢を膨らませています。

ヒロシマ、ナガサキの原爆、フクシマの原発、電磁波ヒバク。気がつけば日本は、世界一のヒバク国になってしまいました。でも電磁波ヒバクは今すぐ終わらせることができます。総務省、ケータイ電話会社、マスコミ…そしてあなたが望めば。

電磁波ヒバクにより奪われている胎児の未来、子どもたちの未来を取り戻すために、一緒に歩きましょう。あなたのパワーが必要です。

ウォーク参加者へのお願い

- ・ケータイOFF
- ・香水、整髪料、化粧品など控えて下さい
(化学物質過敏症の人も参加できるように)
- ・プラカードをつくれる人は持参してください
- ・鳴りもの、楽器、合唱などで盛り上げて歩きます

プラカードの言葉案

「電磁波ヒバクから子どもを守ろう」
「No圏外 No Life」
「ケータイ電話は発がんの可能性あり」
「ヒバクは終わる。あなたが望めば」
「ヒバク is over, if you want it.」

集合時間・場所：3月24日（土）午前11:30 代々木公園原宿門に集合（右下の略地図参照）

11:45出発 東京ウィメンズプラザまでウォーク

ウォークに関する問合せ：電話/FAX 0265-94-3618（塩田） voc-emf@mbn.nifty.com（加藤）

